

発言・討論まとめ

専務理事 佐藤 賢治

米の価格高騰や生産者の厳しい状況に対し、組合員と生産者が共に学び考える機会を大切にし、『縁農隊』や地場産地との交流や農業体験を通じて、日本の農業問題を知り・学ぶことを大切にしています。組合員、生産者のみなさんと一緒に考える機会を増やしましょう。

共同購入事業では、お米の安定供給に向けて取引先や生産者との関係強化を進めていきます。

また、SNS時代における正確な情報の重要性が指摘され、生協として学習会や紙面改善を通じて、正しい情報を広く伝える努力を続けると述べました。『ほのぼの』活動については、「お互いさま」の精神を実践する場として評価される一方、参加方法がわかりにくいとの声もあり、誰でも気軽に参

加できる環境づくりに取り組みます。

さらに、吹田高城町の新施設を、環境や農業について学び考える場として活用し、再生可能エネルギーの活用も視野に入れ、地域とのつながりを強化していきます。

フードバンクへの加入については、子どもや生活困窮者への支援、食品ロス削減、地域の相互扶助につながると考え、支援の拡大をめざします。ガンバ大阪とのパートナー契約については、理事会で確認のうえ、総代懇談会などで報告しています。

最後に、平和への取り組みや組合員どうしが率直に語り合い、行動することで、より多くの人に関わりたくなるような活動を進めていきましょう。



当日発言・主旨

※事務局で要約し掲載しています。全文は意見集をご覧ください。
意見集をご希望の方は組織部までお電話ください。

わたしの想い～議案への意見～

よどがわくらしの 助け合いの会『ほのぼの』

高槻市：吉岡維栄総代

『ほのぼの』の活動に参加し、地域での助け合いの大切さを実感しています。活動会員として家事支援などを行い、利用者からの感謝の言葉にやりがいを感じています。現在はコーディネーターとして活動しており、活動会員の高齢化や人手不足が課題です。少しの時間でも参加でき、資格なども必要ありません。助け合いの気持ちがあれば大丈夫です。今後もこの活動を続けていくためにご理解いただけますようどうぞよろしくお願いいたします。

『米価』『組合員活動』『新施設』など

吹田市：山一小百合総代

米の価格高騰や農業従事者の低所得に対する問題意識を持ち、日本の食料自給率の低さに危機感を抱いています。みなさんも一緒に考えましょう！組合員活動の仕組みがわかりにくいという声を、総代懇談会で聞いたことがあります。『組合員活動一覧表』を配布してほしいと思います。新施設のコンセプト『あそびばたけ』に対しては、社会情勢とのギャップを感じています。ガンバ大阪とのパートナーシップ契約は、総代会の議決が必要ないのかと疑問に思います。

今、思うこと

茨木市：武田和子総代

SNSによる情報の氾濫の中で、正しい情報を選び取る力が重要です。「人は食べたものでできている」とよく聞きます。食材が『どこで』『どのように』作られたのでしょうか？農業や添加物・遺伝子操作・放射能汚染などできるだけ避けたいと思ってきました。特に子どもたちへは長期的な摂取が続けることになります。だからこそ私たち消費者は正しい情報を知り、よく考えて購入することが、今後の生協（食）の方向性や国の農政や食品業界に大きく関わってくるのではないかと思います。

専門グループ平和グループ

島本町：山田サキ子総代

平和グループでは、核兵器のない世界をめざし学習を行っています。2024年に日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞しました。元組合員で現在広島県在住の被爆者に連絡をとると「遅すぎ、ようやく世界が認めた」とおっしゃいました。遅いですが、核兵器廃絶に向かって動いています。6月・7月の平和行進に一步でも一緒に歩きませんか？バスツアーなどみなさんの参加を待っています。

食の安全・子どもの未来・ 地球環境守りたい

吹田市：井上道代総代

『食の安全・子どもの未来・地球環境を守りたい』というテーマに賛同します。新施設が環境や農業について学び、意見を発信する場になることを願っています。気候変動による山林火災や農水産物への影響は、生活に関わってきています。再生可能エネルギーの導入や地産地消の推進を通じて、地域での環境対策をすすめてほしいと思います。

フードバンク法人加入について

吹田市：吉田史枝総代

フードバンク法人立ち上げて、地域での“食”に関わる活動が活性化されることが期待できると感じました。年会費150万円には驚きました。この間の食材の高騰、お米の問題を考えると生協でのそちらの安定的な食材確保には、必要な資金にもなりえるのではないかとこの声も耳にします。生協を利用している組合員だけが良ければいいのかという疑問もよぎります。子ども食堂は、地域での食支援や居場所づくりとして、子どもだけでなく高齢者や家族連れも利用する場としての広がりもあります。フードバンク法人加入は、『みんなで大切にしたい5つのこと』につながっていくと思います。



2030ビジョン

北摂の地で組合員を主役に、 地域とつながり

「ここで暮らしてよかった!」を実現する ～この地で生まれ育った生協だからこそ～



春の総代懇談会期間中に
集まった平和メッセージを
『お花畑』にして展示しました。



紀ノ川農業協同組合
宇田組合長より
ご挨拶いただきました。



途中よどまるが登場し、
ストレッチ体操を行いました。

2025年度取り組むこと・4つの柱

地域社会の一員として地域でもささえあい、組合員一人ひとりが実感した生協のよさを伝え、生協の利用や活動の参加をひろげ、それぞれの思う豊かなくらしの実現をめざしていきましょう。

みんなが笑顔になる食やくらしを実現する 事業をすすめましょう

買い物などの困りごとなど、生協の事業や活動を通じて解決をめざし、組合員一人ひとりにとっての豊かなくらしをめざしましょう。



ありたい社会・地域づくりへの 想いを広め、協同をすすめましょう

2025年は被爆・戦後80年にあたります。国際社会は平和を求めています。組合員と役員が一緒に平和について考え、年間を通じた取り組みをすすめましょう。地域団体や地元学生との連携を通じて、地域課題の解決や「この地域で暮らしてよかった」の実現をめざしましょう。



知りたい、学びたいを大切に、誰もが参加できる 活動をすすめましょう

商品を真ん中に生産者と交流する場に積極的に参加しましょう。地域に貢献したい組合員が参加できる仕組みづくりをすすめます。新施設をみんなが集まる場所となるように、一緒に考えていきましょう。



発展し続ける生協をめざして、 将来に備えましょう

働く人の命と健康を守り、イキイキと働き続けられる職場づくりをめざしましょう。定期的な学習会や交流会を実施し、働き続けたいと思える職場環境づくりをすすめます。



※第48回通常総代会議案書・意見集をご希望の組合員は、組織部までお電話ください。
☎06-6319-5619 (受付:月～金、9～17時)